



No. **125**
.....
令和6年8月
.....

\\ こんにちは //

豊前市議会です



第100回全国市議会議長会定期総会 (5月22日)

CONTENTS 目次

6月定例会 (6/3 ~ 6/21) 主な内容

- 議案の概要・特別委員会の設置..... 2~3P
- 令和6年6月定例会 議案審議結果..... 4P
- 一般質問..... 5~11P
- トピックス・編集後記..... 12P

議会へのご意見をお寄せください

発行 / 豊前市議会
豊前市大字吉木955
TEL 82-8137 (直通)

ホームページ/
<https://www.city.buzen.lg.jp>



議案の概要

第4回定例会

令和6年第4回定例会は、6月3日から6月21日までの19日間の会期で開催されました。本定例会には、市長より、条例案件6件、補正予算3件、報告案件2件の合計11件が提出されました。それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査した結果、原案どおり可決・承認されました。また、議員より、請願1件が提出され、文教厚生委員会で慎重に審査した結果、継続審査となりました。なお、議案第26号・第31号・第33号について、反対討論がありました。最終日には、文教厚生委員会より、意見書案1件、市長より、人事案件3件が提案され、いずれも原案のどおり可決・同意されました。

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。
(敬称略)

■固定資産評価審査委員会委員

豊前市大字三毛門

佐山 彰

■固定資産評価員(税務課長)

豊前市大字杵川

橋本 淳一

■教育長

豊前市大字八屋

中島 孝博

文教厚生委員会申し入れ事項

◎地域コミュニティ交通デザイン業務等委託、空き家調査業務委託及びごみ減量化推進事業委託については、しっかりと取り組むこと。
また、目的の効果については、委員会で経過報告を行い、3年後も事業が継続できるよう努めること。

総務委員会申し入れ事項

◎地域創生推進事業については、しっかりと取り組み、経過については、委員会で報告を行い、事業が継続できるよう努めること。

以上、申し入れました。



企業誘致特別委員会、豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会が設置されました。

◎……委員長 ○……副委員長

企業誘致特別委員会(7人)

- | | |
|--------|-------|
| ◎岡本 清靖 | 秋成 英人 |
| ○福井 昌文 | 平田 精一 |
| 爪丸 雄太 | 尾澤 満治 |
| 梅丸 晃 | |

豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会(7人)

- | | |
|--------|--------|
| ◎尾澤 満治 | 為藤 直美 |
| ○平田 精一 | 内丸 伸一 |
| 増田 泰造 | 郡司掛八千代 |
| 村上 勝二 | |

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会

◎内丸伸一○増田泰造・爪丸雄太・渡辺美智子・村上勝二・為藤直美・郡司掛八千代

文教厚生委員会

◎梅丸晃○為藤直美・爪丸雄太・渡辺美智子・増田泰造・平田精一・岡本清靖

産業建設委員会

◎尾澤満治○梅丸晃・爪丸雄太・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・福井昌文

議会運営委員会

◎為藤直美○尾澤満治・渡辺美智子・梅丸晃・村上勝二・内丸伸一

《令和6年度一般会計補正予算の概要》

【議案第33号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第2号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に設置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇地域創生推進事業

(コミュニティ調査・分析等業務委託料)	16,142千円
(地域活動推進ポイントシステム等構築業務委託料)	22,440千円
(Re:ぶぜんプロジェクト伴走支援等業務委託料)	28,150千円

◇国際交流費

3,477千円

◇地域交通対策事業

(地域コミュニティ交通デザイン業務等委託料)	16,060千円
------------------------	----------

◇低所得者支援及び定額減税補足給付金事業

341,650千円

◇児童手当制度改正準備事業

5,532千円

◇空き家調査業務委託料

5,500千円

◇ごみ減量化推進事業委託料

34,265千円

◇園芸農業等総合対策事業

2,076千円

【議案第34号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第3号)

緊急に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇一般予防費(弁護士委託料)

2,025千円

【意見書案第1号】(提出委員会:文教厚生委員会)

JR日豊本線「小倉駅～中津駅間」とJR鹿児島本線「博多駅～小倉駅間」の運行列車の連絡改善及び輸送力強化を求める意見書

JR日豊本線及びJR鹿児島本線は、従来から沿線の地域住民の重要な交通手段の一つとして活用され、これまで一定の輸送力強化についてご努力いただいている。

しかし、行橋駅・新田原止まりの運行列車が全体の5割を占め、圏域内の移動はもとより、特に電車で京築地区から北九州方面に勤務するサラリーマンや通学する学生にとって、行き帰りの連絡が悪く、生活に多大な支障を来たし、地方と都市部間の新しい人の流れの創出や地方への移住・定住化への阻害要因の一つになっていることから、

1. JR日豊本線は京築北九州地域の唯一の基幹交通路線であり、通勤・通学者の利便性確保の為、行橋駅・新田原駅止まりの電車を中津駅方面まで延長すること。

2. JR鹿児島本線「博多駅から小倉駅」とJR日豊本線「小倉駅から中津駅」までの連絡を改善し、JR日豊本線の最終便に中津行きを増便すること。

以上について、国・県へ強く要望しました。

【請願第1号】(紹介議員:平田精一・秋成英人

内丸伸一・増田泰造
渡辺美智子)

鍼灸マッサージ施術助成金増額に関する請願は、継続審査となりました!!

現在、我国の疾病構造は生活習慣病、高齢者疾患を中心に、ストレス病、うつ病など心の病も増加し、この先、医療保障だけでは限界がある。国は一人ひとりが健康に対し主体的な判断や選択が出来る環境整備の構築をはかるとともに慢性疾患や一定の支障を抱えても生活の質を維持向上させ健康を保つケア中心の時代に転換するとある。

近年、鍼灸マッサージは予防医学においても健康の維持・増進・疲労回復・未病治などに対し大いに期待されている。そこで、鍼灸マッサージ施術助成金について、増額を要望する請願でした。

文教厚生委員会の審査において、近隣自治体及び豊前市の状況を踏まえ、もう少し慎重に検討したいとの意見が出され、全会一致で継続審査となりました。

令和6年6月定例会 議案審議結果

「○」… 賛成 「●」… 反対

「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	爪丸雄太	渡辺美智子	増田泰造	梅丸晃	村上勝二	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	平田精一	福井昌文	岡本清靖	尾澤満治	賛成	反対
議案第26号	豊前市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第27号	豊前市満3歳以上教育・保育給付認定子どもに係る副食費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第28号	豊前市放課後児童クラブ条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第29号	豊前市営住宅管理条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第30号	専決処分について（豊前市税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第31号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第32号	専決処分について（令和6年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第33号	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第34号	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
請願第1号	鍼灸マッサージ施術助成金増額に関する請願	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
意見書案第1号	JR日豊本線「小倉駅～中津駅間」とJR鹿児島本線「博多駅～小倉駅間」の運行列車の連絡改善及び輸送力強化を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
同意案第3号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
同意案第4号	豊前市固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
同意案第5号	豊前市教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0



議長
岡本 清靖



副議長
福井 昌文

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問

(増田泰造議員)

- ① 使用済み紙オムツのリサイクル導入
- ② 宇島く久路土線事業計画
- ③ 軟骨伝導イヤホン

(郡司掛八千代議員)

- ① 生理の貧困対策
- ② ごみと環境問題
- ③ これからの災害対策

(梅丸晃議員)

- ① ファシリティマネジメントの推進

(尾澤満治議員)

- ① 投票率向上に向けて
- ② 豊前市バス

(村上勝二議員)

- ① 子どもたちに安心安全と希望ある未来を
- ② 自治体システムとマイナンバー
- ③ 第3セクター豊前開発環境エネルギー株式会社の問題のその後

(爪丸雄太議員)

- ① 放課後児童クラブ
- ② 学校跡地利用
- ③ 企業誘致

(渡辺美智子議員)

- ① 人口減少
- ② 空き家対策
- ③ 選挙投票所設置箇所
- ④ 大谷グローブの活用

(為藤直美議員)

- ① ジュニアリーダーの育成
- ② デジタル推進と今後の計画
- ③ 豊前市の目指す国際交流とインバウンド

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です
ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しています
のでそちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますの
で、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

使用済み紙オムツのリサイクル導入について



増田 泰造

増田議員 高齢化社会が進み、家庭や福祉施設などから排出する紙オムツは年々増加している。豊前市が年間に排出する一般廃棄物の量、使用済み紙オムツの量と割合及び廃棄物処理方法をお尋ねする。

生活環境課長 豊前市の収集分、清掃施設組合に直接搬入された分を合わせて、令和4年度の一般廃棄物の量は9983トン、そのうち使用済み紙オムツの量は、推計割合で算出すると約500トンが処理されており、焼却処分している。

増田議員 環境省が令和5年8月9日に使用済み紙おむつの再利用等の促進プロジェクトの検討結果取りまとめを発表したが、ご存知か。

生活環境課長 承知している。今後、高齢化社会を

迎え使用済み紙おむつの排出量が増加している中、再利用の促進が焼却処分の削減や資源循環の促進に寄与するという内容である。その中で先進地として紹介されている県内の大木町、鹿児島県志布志市に視察に行っている。

増田議員 プロジェクトの達成目標は、2030年までに実施検討を行なった自治体の総数を100自治体とする。今後

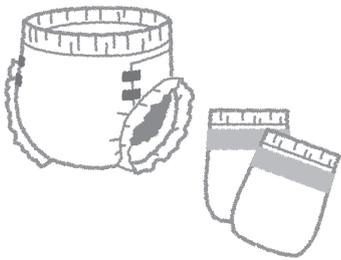
の状況に合わせた柔軟な対応を行い、持続可能な取組にしていくとなつている。視察に行つたという先進自治体の例からも、再資源を扱う企業と近隣の自治体との連携をクリアできれば、実現可能になると考える。高度な技術を用いて、産業廃棄物のリサイクルに取り組む事業者を国が認定する法律が成立し、使用済み紙オムツのリサイクル技術を持つ事業者は、自治体ごとに許可を得なくても廃棄物収集できるよつになる。環境省の目標の100自治体に、豊前

市も加わるべきだと考えるが、市長、いかがか。

市長 紙オムツについては、大きな課題と認識している。他の自治体でのリサイクルの仕方はそれぞれで、分別してリサイクル活用するやり方と、オムツからオムツへ水平リサイクルするやり方がある。我々もぜひ取り組むべきテーマだと思つうが、やはり課題がたくさんある。市民の皆さんに理解していただけるような方法を取つていかなければと思つう。議会の皆さんともしつかり連携しながら、先ほどの自治体のような先行事例になりたいと思つている。

増田議員 前向きに検討をお願いする。

市も加わるべきだと考えるが、市長、いかがか。



生理の貧困対策について



郡司掛 八千代

郡司掛議員 地方自治体の生理の貧困の取り組みとして、交付金を活用した取り組みが多いと聞かすが、豊前市はいかがか。

学校教育課長 豊前市では国の交付金は活用せず、市の単独予算で生理用品を購入し、学校で無償配布している。今後、交付金を活用した事業が可能か研究したい。

郡司掛議員 ぜひ交付金を活用し、多くの個数を配布してほしい。また、学校内において保健室に準備しているところもあるが、豊前市はどのような対策をしているか。

学校教育課長 学校では、児童・生徒からの相談を受けた場合、保健室に用意している生理用品を配布している。

郡司掛議員 保健室や窓口対応では、行きづらく我

慢している事例もあり身体的・精神的、社会生活への影響も挙げられているが、学校再編計画の中でトイレにナプキンを設置する計画はあるか。

教育長 生理の貧困は、これから一層深刻になつていく課題の一つと認識している。これに対応していくには、困つている子どもたちの家庭に支援を届ける取り組みと、施設側の環境で対応ができるよう行つていくという、2つの方向性があると思つう。学校としては、再編の設計段階において、予算や養護の先生の負担などの理由から、今までと異なる新たな施設的対応をしている状況ではないが、今後、学校の支援スタッフを配置できる環境を整えば、考えていきたい。一番大事なのは、生理用品が必要な時に、恥ずかしがることなく、手に入れることができる性教育を進めていくことだと思つうし、困つているときに言いにくいということがないように、学校現場の環境をつくる努力をするように指導し

ていきたい。

郡司掛議員 生徒の声に耳を傾けて、良い学校生活を送れるよう、設置計画をお願いしたい。生理の貧困は、わが国でも起つてきている社会問題である。いろいろある交付金を活用して、子どもたちの未来のために手を差し伸べていただきたい。

市長 身近なところとして、宇島駅前トイレは学生・生徒も多数利用している。安心して暮らせる、過ごせる豊前市という意味では、考えていかなければならない課題だと認識している。

郡司掛議員 生理の貧困は、若い世代の割合が高いよつである。未来の子どもたちの大事な時期に支援の輪を広げていただきたい。



ファシリティマネジメントの推進



梅丸 晃

財政収支や人口動向など、社会経済情勢の変化に応じて適宜見直しを行う。

梅丸議員 公共施設だけでなく、道路・橋梁・上下水道についても同様である。

梅丸議員 ファシリティマネジメントとは、自治体の保有する公共施設・インフラを効果的に管理運営するための専門的な手法やプロセスをさす。豊前市の公共施設全てを維持すると、年間約29.5億円かかる見込みである。長寿化・廃止・更新等により、維持管理費を縮減しなくてはならないと考えるが、具体的な目標はあるか。

財務課長 2054年度までに、公共施設の保有延べ床面積30%(約4万3,600平米)削減を目指していく。今後、学校再編や公共住宅長寿化計画に基づく廃止・集約、その他施設の統廃合により建物の解体や売却ができれば、約27%の削減が見込まれる。施設の廃止には住民の理解も必要であり、短期間でできるものではない。今後の

手法を含め、市外の民間の力を取り込みながら、豊前市を元気にする。その中で、安全・安心にインフラ整備ができ、いま持っている施設がさらに長寿化化によって生かされていくことも、ある意味では考えていかなければならないと思う。

梅丸議員 老朽化していく公共施設・インフラについて、問題意識を共有することが、現世代だけでなく次の世代、子や孫の世代のために、私たちが出来ることではないかと考える。老朽化は、いつの間にか忍び寄る緩やかな震災であると思う。将来を見据えて目の前にある公共施設をいま考え、全体最適の観点で、10年、20年、30年後の市民の負担を、いかに減らせるかにかかってくる。未来の豊前市のために計画を着実に進めていただくことをお願いする。

市長 就任直後から、公共施設の見直しについて取り組んでおり、豊前市の現状を見ると、建設当時と全く違う風景になっている。今まで先人が頑張つて築いてきた建物、インフラ施設をどのように管理運営していくのか。安心して安全に災害に強い施設を維持管理していく、大変厳しい場面に立たされている。そこで国際共生というかたちで海外の人の力を借り、海外の

投票率向上に向けて



尾澤 満治

尾澤議員 3月24日に行われた豊前市議会議員選挙は投票率が70%を切るという現状になっている。市民が投票に行つてもらふような施策また選挙に立候補しやすい施策をすることで、投票率向上につながるのではないかと考える。立候補者説明会が1か月前ぐらいにあるが、説明が分かりづらい。半年前ぐらいに、立候補する準備についての説明会を行つてみてはと思うが、いかがか。

尾澤議員 投票所の設置基準について、期日前投票所は、豊前市役所の会議室を使っているが、投票率向上につなげるために2か所目に多目的交流センター内に設置し、投票が終った証明書を発行し、商店街や協賛業者から特典があるようなキャンペーンを打てないのか。

尾澤議員 ポスター掲示の設置基準について、豊前

市には136か所も掲示板があるということだが、告示日には、貼る人の確保が大変であり交通渋滞にもなる。また、道路沿いにある車でそのまま通過すると見えにくい。設置撤去の費用や時間もかかることから、見直しができないのか。

選挙管理委員会事務局長 公職選挙法によると、ポスターの掲示場は公衆の見やすい場所に設置することになっており、特別な事情のある場合には、条例の定めにより総数を減ずることができるとなっているが、慎重な運用が望ましいとされている。

期日前投票所については、二重投票にならないようにシステムが住民基本台帳と連動しているため、庁舎内に限定されている。費用負担の面から庁舎外に設置することは困難であるが、今後研究したい。

総務部長 キャンペーンについては、今からの課題として研究したい。

尾澤議員 選挙の投票立会人について伺う。若い世代の皆さんに積極的に選挙事務に参加して、関心を持っていただくため選挙の立会人を若い世代に募集をしてみてもどうか。

選挙管理委員会事務局長 公募を行っている自治体の調査をし、選挙管理委員の意見も伺っていく。

尾澤議員 若い人たちに少しでも関心を持っていただいて投票率が上がるような、環境づくりを心がけていただきたい。



子どもたちに安心安全と希望ある未来を



村上 勝二

村上議員 小中再編計画について、平成27年のわが党の一般質問で角田小・中学校を一貫校にするような答弁があった。審議会で小・中学校が各1校あり、防災教育など小中連携で取り組んできたことから、小中一貫校がいいのではないかとという答申が出された。これが令和4年になると、角田小・中学校の廃校を前提とした再編計画で、小中一貫校の計画が白紙になった経過を聞くと、教育長はそういう計画は元々なかったと答弁した。角田に小中一貫校ができると思っていた方が何人もいるため質問をしたが、この点で矛盾がないのか、お聞きする。

教育長 当時の審議会で角田小・中は歩いて行ける距離にあり、各学校の特徴を生かした取組も審議しないといけないという内容が付され、そこに小中一貫校という文言が記されたことは確かである。これを受けて教育委員会が学校と取り組んできたのは、看板を小中一貫校と付け替えるのではなく、行事や授業づくりを一緒に取り組み連携を進めるという意味で行われたと私は答えた。議員ご指摘の件は一切なく、小中連携で元気にすれば、角田小・中を選ぶ生徒が増えるいかといった取組をしてきた。改めて言うが、角田の小中一貫校で一つにするという答申が出たことはい。

市長 最近の建設物価高により市の財政だけで取り組むのはどう考えても難しく、寄附という形で少しでも補うことができないのか。皆の力で将来の子どもたちのためにという思いで掲載した。

村上議員 学校再編への理解が不十分で、予算の規模も確定せず、市民の不安を煽っているだけではないのか。現実には再編計画を白紙に戻す、または見直しを求める声があると思う。

次に、子ども医療費無料化のさらなる拡充を含め、学校給食費・3歳未満の保育料を無料にするといった子育て支援への取組を訴えていきたいが、いかがか。

市長 無償化したい、負担を少なくしたいという思いは同じであるが、今は優先順位として学校再編を含めて動いていかなければならない。子ども・子育て支援法ができたが、やはり国の責任で少子化対策として取り組むべき事と思うので、ご理解いただきたい。

放課後児童クラブについて



爪丸 雄太

爪丸議員 放課後児童クラブは子ども居場所づくりや小1の壁、中1ギャップ対策として大切だと思う。市内に9つの施設があるが、本年度の利用者数や児童福祉法で定められている職員体制、施設面積、開所時間等の基準を満たしているのか、お聞きする。

福祉課長 小学校区に施設があり、定員330人に對して利用者は285人、職員数は一単位2人くらい配置するとなっている。人数や面積、施設の設営状況などいずれも基準を満たしているところである。

爪丸議員 放課後児童クラブに子どもを預ける保護者にとって、子どもがどう過ごして、どう遊んでいるのかなど詳しく知れることは子育ての不安解消の一つになると思うが、保護

者への情報はどう伝えていくのか。また、ケガなど緊急を要する時の対処法をお聞きする。

福祉課長 日常的に子ども様子は、お迎えに来た時に伝えており、特記すべきことは指導員の判断で報告している。事故等があった時は、あらかじめ作成している緊急連絡先に連絡をし、急ぐ場合は、救急車や病院等への対応といった態勢になっている。

爪丸議員 保護者との連絡を取りながら運営をお願いする。放課後児童クラブは、児童の保護及び遊びを主とした健全育成を図るものとする。例えばフットボールのように、体力・知力そして人のことを思い合う心を持つことができる遊びがあるが、どのような遊びを行い、健全育成を図っているのか、お聞きする。

福祉課長 各児童クラブでは遊具や折り紙、また宿題などをして時間を過ごしている。議員提案のスポーツについて、現時点でプロ

ラムとして明確には立てていないが、指導員にそのような情報があることを伝えたい。

爪丸議員 以前、長期休暇の時に市内の子どもたちを集めた放課後児童クラブ「青空学級」を行っていたが、ここ何年かは開催されていない。どこが運営し、その目的や活動内容、再開を検討しているのか、お聞きする。

福祉課長 夏休みの居場所づくりと交流の場を目的に豊前市社会福祉協議会が実施していたが、新型コロナウイルス感染症により中止している。なお、活動していた場所は窓の状況で換気ができない、広くて人数を集める場所がない、指導員等の人材確保に苦慮しているように、現時点で再開は考えていないとのことである。

爪丸議員 子どもたちは豊前市の宝である。いつまでも放課後児童クラブが子どもたちや保護者の味方であり続けるために、全力でサポートをお願いする。

人口減少について



渡辺 美智子

とにチャレンジし、捻出できるように頑張つていきたい。

渡辺議員 市民の皆さんより、年齢を問わず、高齢者の生活問題改善も必要だが、まずは「少子化対策」として子育て政策に力を入れて欲しいとの声が上がっている。そこで、給食費について、子どもがたくさんいる家庭では月に2万円以上となり、家計の負担になっている。賃金は上がらず物価が高騰し生活は困窮している中、豊前市の財政難も理解している。全額無料とは言わないが、第2子から半額にするなど市の予算と相談し段階的に徐々に補助してもらいたいと思うが、いかがか。

教育部長 市全体の事業を見直してどこに重点を置くのか、お金を捻出してどの事業に充てるのかなどやり方はいろいろあると思う。全庁挙げていろいろなこ

かと思う。議会や市民の皆さんのご協力やご理解をいただきながら取り組んでいきたい。

渡辺議員 子どもの遊び場について、市内には雨天の時や夏の暑さが厳しい時期に利用できる施設がない。豊前市地域子育て支援センター「たけのこ」があるが日曜日は利用できない。子育て世代の方からは、駐車場の心配もなく、買い物ができる、コインランドリーもある市内のフレスポ内にあるのが理想という声を多く聞く。そこで、既存の建物を利用するなど知恵を絞つて、考えてもらいたいと思うが、いかがか。

市長 子育て最中の保護者、家族にとって安全な場所、便利なお店があればいいというのはよく分かっている。いま学校再編という大事業に取り組んでおり、魅力的な教育を、子どもたちを育てるのなら豊前が一番と言われるような教育体制を作り、それが軌道に乗れば子育て支援などにもお金が回せるのではない

渡辺議員 遊び場を探している子どもたちが豊前を離れてしまうと、せっかく良い学校ができて通う児童がいけないことになる。少し前向きに考えていただきたい。人口減少は子育て政策に力を注ぐばかりではなく、高齢者の生活の安定や定年を迎えた方々が安心して故郷に戻り生活できる環境づくりU・I・Jターンの呼び込みも不可欠だと考える。豊前市から外に出ている方や若い人の目に留まるような魅力のある発信をお願いする。また、保育園留学といって保護者が子どもを連れて1、2週間滞在し、保育園に通う制度を活用し、小さい頃から豊前に訪れるチャンスを与え市のPRをしてもらえるといいと思う。市外からの流入を増やし、市内を活性化させ「選ばれる豊前市」になるには、外からの声もしっかりと取り入れていく必要がある。

豊前市の目指す国際交流とインバウンドについて



為藤 直美

について、伺いたい。

為藤議員 豊前市では、ハワイ、ベトナム、そして台湾と多くの外国人を受け入れ、国際交流を行なっているが、市内の在住外国人の推移等について、伺いたい。
国際共生推進室長 平成31年3月末時点で、15の国と地域で合計316人、令和6年3月末時点で、24カ国の合計460人と5年間で144人増加している。
為藤議員 外国人が、すごく多く豊前市にきている。外国人との共存、豊前市でしかできない体験、そして地域との交流で、豊前に来て良かったと思われる地域になるよう、お願いをす。また、外国人が日本の文化や歴史に興味を持ち、インバウンド需要が伸びている。豊前市では、国際共生推進室を設け、国際交流の推進を積極的に行っている。インバウンド観光

市長 円安もあり、アジアからだけではなく、欧米からもインバウンドで来られるようになった。しっかりとこの流れをくみ取り、海外からも人が訪ねて来るような豊前市になりたい。素晴らしい歴史と自然景観、魅力ある所をもっているのに、海外にも目を向け頑張つていきたい。
為藤議員 海あり、山あり、自然に囲まれたこの豊前市、災害の少ない地域の魅力をPRして、空港からも近く、関係人口の拡大から人口減少問題への取り組みのきっかけとして、豊前市の魅力を感じるような施策、特に若者へのアプローチ、子どもの施策など掲げて、これからも共に豊前の未来のために頑張ってもらいたい。

年度	市内在住外国人数
平成31年	316人
令和2年	354人
令和3年	371人
令和4年	312人
令和5年	432人
令和6年	460人

一般質問

そこが聞きたい
なんとかしたい

『新世清友会』の一般質問



平田 精一



福井 昌文



内丸 伸一



秋成 英人

- (内丸伸一議員)
- ① 豊前市の今後
- (秋成英人議員)
- ② DX化
- ③ ジビエ給食
- ④ 豊前版たびスタ制度の新設
- (平田精一議員)
- ⑤ 人口減少にともなう諸問題

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「ですます調」ではなく、「だ、である調」に統一しております。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

豊前市の今後について

内丸議員 安心・安全なまちづくりについて伺う。まずハザードマップについて、今年度ハザードマップの更新を行うとのことだが、豊前市の災害発生状況を加味し、実情に合ったハザードマップの作成をお願いしたいが、いかがか。

総務課長 作成にあたっては、国・県の補助事業を活用する。よって調査による客観的なデータを元にするため、被災の範囲や程度が想定できないものは、ハザードマップでなく、個別の情報共有が望ましいと考えている。

内丸議員 ハザードマップは、何かあった時の対策を頭に叩き込むためのものであり、それに書いてなければ、そういったことを思わない。その点に関していかがか。

総務課長 ハザードマップは、避難のための準備、研修のための資料と判断している。地元の方々、市の防災担当も含め情報共有をしっかりと行い、防災に関する研修会、避難訓練など

で情報共有を図りたい。

内丸議員 水害では、県が管理する2級河川だけでなく、市が管理する河川についても、溢水被害予想箇所なども記載し、周辺の住民が大雨の時に危険なので早期避難しよう、と思えるハザードマップを作成いただきたいが、市長、いかがか。

市長 外国人、高齢の方々を含め、自分の体を自由に動かす、また周辺が分かって動く、そういう人たちがかりではない。協働の力、共同の力を借りながら、安心して暮らせる地域をつくるため、提言いただいたところを含め、活用していきたいと思う。

内丸議員 市民の生命・財産を守るため、少しやり過ぎぐらいがちょうどいいと思っているので、しっかりとしたハザードマップの作成をお願いする。

次に、災害発生時には避難所を開設すると思うが、政府は、女性活躍男女協働参画の重点方針2024を決定し、平常時から自治

体の防災担当部局などに女性職員を配置する必要性が明記された。豊前市には防災士会があるので、その防災士会と連携し、女性防災士にも避難所開設に携わってもらえるようにしてはいかがか。

総務課長 現在、防災担当の係に女性職員の配置は行われていないが、これまでも公民館等での避難所運営に、女性職員も携わっていた。また過去には、女性防災士の方に避難所開設の支援をしていただいたこともある。避難所での女性に対して配慮すべきことの助言や避難所開設が長期になる場合など、防災士会、特に女性の方々にも連携協力を求めてまいりたい。

内丸議員 豊前市のために、しっかりと活動してもらうことが大事だと思う。



ジビエ給食について

秋成議員 ジビエ給食実施小・中学校が全国最多の大分県では、全小・中学校の46%がジビエ給食を実施しており、特に中津市は、ジビエ給食先進地と呼ばれる。学校給食は、地産地消、食文化、生命や自然環境の理解を深める観点から、地域の食材が積極的に活用されている。学校給食において、猪・鹿など、地域で捕獲したジビエを活用することは、子どもたちに猪や鹿などによる農作物被害の問題のほか、関係者の方々の捕獲・処理・加工・流通・商品までの努力の過程を知る機会となり、鳥獣被害防止対策への関心や生き物の大切な命を感謝していただく気持ちをもつことにつながる。一方、食肉処理業者にとっても、自ら処理・加工したジビエを学校給食に提供することは、新たな販路開拓や教育現場との連携体制の構築も期待できる。また、狩猟者や食肉処理施設など、ジビエ

関係者のやりがいにもつながり、地域振興にも貢献するものと考ええる。ジビエ給食は、学校給食法の目的や目標に沿ったものと言える。豊前市も、ジビエ給食を実施しているが、実施状況、今後の取り組みをお聞きする。

教育部長 豊前市は、加工場を有しており、現在、年に1、2回地元産の精肉加工業者が作ったジビエウインナーを使用したジビエ給食を提供している。値段がかかるので、補助事業を使い、これからもやっていきたい。

秋成議員 肉自体、鹿の肉などは、出していないのか。何か、衛生的な問題があるのか。

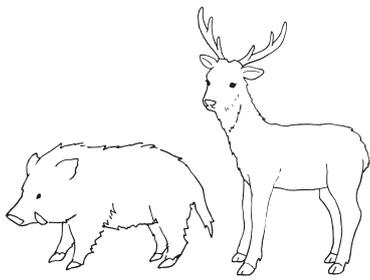
教育部長 鹿肉、猪肉そのままという使い方は、やっていない。給食に使うにはハードルがあり、提供の仕方、量が問題になつてくる。ジビエウインナーであれば、大量生産して学校に配れる利点もあり、ウインナーだけを使っている。

秋成議員 中津市はいち早くジビエ給食を始めて

いる。今後は、中津市など他の自治体の実施状況も参考に、視察に行くなど、ジビエ給食に取り組んでいただく。市長のお考えをお聞きする。

市長 われわれの施設では、学校給食に出せる能力が整っていないと聞いている。子どもたちのために、ふるさとでなければならぬ、そんな食材、おいしさと誇りにつながるような、そういう流れをつくっていきたいと思っている。

秋成議員 ジビエ給食はコストが掛かるが、メリツトが多く、今後も積極的に取り入れてもらいたい。



人口減少にともなう諸問題について

平田議員 少子化のために学校再編成をしなければならなくなつたと思うが、地域にとって文化の象徴である学校がなくなることで、地域の活性化を失うことにつながる。活性化を図るため、数年前から進めている地域づくり協議会の活動をなお一層発展させなければならぬと思うが、現在の活動状況はどうなっているか。

市民協働課長 地域づくり協議会は、公民館単位、市内11地区で設立されている。全ての地域で地域づくり計画書の作成が終わり、その計画に基づき、地域活性化事業を実施している。

平田議員 学校がなくなれば、地域に集う場が段々なくなり、地域づくり協議会が、非常に大事な組織になつてくる。農業新聞によると、地域運営組織(RMO)というものがあるようだが、どういう組織なのか。

市民協働課長 RMOというのは、リージョン・マネ

ジメント・オーガニゼーションの略で、直訳すると地域運営組織である。豊前市でRMOに当たるものについては、地域づくり協議会だと考えている。また、農村RMOは、地域づくり協議会よりも一段階上の組織のようで、複数の集落の機能を補完し、農業関係者だけでなく、地域の方々も農地の保全に取り組んでもらえるよう、農林水産省が推奨しているようである。

平田議員 予算が各地域づくり協議会に年間50万円付けられているが、活動がどんどん大きくなるにつれ、ボランティアで継続できるのか疑問に思うところがある。今後、予算面はどう考えているのか。

総務部長 学校再編後を見据え、より協議会の重要性が増してくると、人手も必要になり、予算が膨らむことも十分想定される。市の中で補助金の集約等、検討を進めているので、協議会の皆さんと意見を交わ

しながら、組み立てていきたいと考えている。

平田議員 統括して、市長はどういうお考えなのか。

市長 地域づくり協議会については、RMOという、もう一つ突っ込んだかたちで表現されることもあるが、地域のカラー、歴史、風土を生かしながら、地域しかできないこと、困ったことを価値に変えていく、そんなことを市民協働課を中心に情報収集し、設計図を描いていく、そんなことが理想である。

平田議員 せっかく地域づくり協議会が活動を開始しているので、うまくいくように、私もも含めて努力していきたい。



全国市議会議長会表彰



郡司掛八千代 議員
(副議長4年表彰)

尾澤満治 議員
(20年特別表彰)

郡司掛八千代議員(副議長4年表彰)、尾澤満治議員(議員20年特別表彰)が、令和6年5月22日に東京で開催された第100回全国市議会議長会定期総会において、市政振興に尽くされた功績が認められ、表彰されました。

教育長に中島氏が再任



教育長のあいさつ

6月21日の議会最終日、市長より任期満了に伴い、中島孝博氏を教育長に再任する人事案が提案され、全会一致で同意しました。教育長として本市の教育振興にご尽力いただくことを期待しています。

なお、任期は令和6年6月23日から令和9年6月22日までです。

議会事務局からのお知らせ

政治家の寄附の禁止(公職選挙法第199条の2第1項、第2項)
豊前市議会は、初盆参り等については、法令遵守をいたします。

編集後記

3月末に行われた改選により、新たなスタートとなりました。編集委員長を再任することになり、市議会だよりが公平公正に皆さんへ届くよう尽力して参ります。

さて、暑い日が続いていますが、市民の皆様は毎日いかがお過ごしでしょうか。これからの時期、大雨や台風等の災害に襲われる可能性があります。行政と協力し、危機管理意識の強化に努め、防災・減災による安心安全な豊前市の為に最大限努めてまいりますので、市民の皆様もまずは自分の命を守ること(自助)を第一に考えてください。

また、熱中症予防のため、暑さを避け身を守る、こまめな水分補給を忘れず、ご自愛いただきますようお願いいたします。

梅丸 晃

次回の定例市議会は
9月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。みなさんの傍聴をお待ちしています。また、本会議については、インターネット中継をしております。

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：渡辺美智子
委員：爪丸雄太 増田泰造
村上勝二

- 印刷 築上印刷有限会社